

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	消防署横倉庫			No.	99
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	建設部土木課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	市道管理上必要な資材等(安全施設や放置物も含む)を保管するため必要な施設であるが、保管先を現場事務所へ変更することにより方針を達成することができる。ただし、現時点では運搬が困難な資材の取扱いやその移動手段について検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	資材移動等								
評価が達成される年度		2031 年度以降							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の処分。 現場事務所の整理整頓及び不良品の処分。		運搬可能な資材のみ現場事務所へ移動したが、消防署横倉庫には運搬が困難な資材が多数あるため、その取扱いやその移動手段について引き続き検討する必要がある。
第2期	2024年度 消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の現場事務所への引っ越し。 現場事務所の整理整頓。	目標未達成（取組中）	運搬が困難な資材の取扱いやその移動手段について引き続き検討する。
	2025年度 消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の現場事務所への引っ越し。 現場事務所の整理整頓。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 45 年
建物延面積	97.20 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	除雪機械格納庫			No.	262
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	建設部土木課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	調整中
『該当する』を 選択した理由	大田市で所有している除雪車は8台です。本施設には除雪車4台を保管し、残りの除雪車4台は旧大田消防署建物に保管しています。除雪車の盗難防止や維持管理のため、建物内に除雪車8台が保管できる必要規模の建替えが必要になる。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031 年度以降							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	課内で情報共有と方針（案）の検討		本施設はスペースが狭く、除雪車8台を全て保管することが出来ない。課題は、一部の除雪車は別の場所へ保管しなければならない。保管できる市有地を探す必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組中）	除雪車の配置・保管が可能な市有地を探索したが、現時点で条件が合致する市有地はなかった。今後、市全体で公共施設適正化を推進し、利用可能な施設があった場合は、その利用も検討したい。
	2025年度	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	176.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	除雪車格納庫
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	現場事務所			No.	263
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	建設部土木課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え	調整中
『該当する』を 選択した理由	市道管理上必要な資材等(安全施設や放置物も含む)を保管する必要があり、運搬可能な一部資材のみ消防署横倉庫から移動した。対象施設は2階建てであり、倉庫としての使い勝手が悪いいため、今後の利用を踏まえて必要最小限での縮小建替えを検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	消防署横倉庫からの資材受け入れ								
評価が達成される年度		2031年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	縮小建替えに向けた適正な施設規模等の検討 消防横倉庫から資材受け入れ		消防横倉庫から運搬可能な資材のみ受け入れた。今後の業務遂行に必要な資材等を踏まえた適正な施設規模を引続き検討する。
第2期	2024年度 縮小建替えに向けた適正な施設規模等の検討 消防横倉庫から資材受け入れ	目標未達成（取組中）	今後の業務遂行に必要な資材等を踏まえた適正な施設規模を引続き検討する。
	2025年度 縮小建替えに向けた適正な施設規模等の検討 消防横倉庫から資材受け入れ	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	53.51 m ²
構造	軽量鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	道路補修等職員現場事務所
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							